

授業科目名	認知症看護学臨地実習	担当教員	◎青山美紀子、川上裕子
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：臨地実習 45時間

【授業概要】

小規模多機能施設及び認知症グループホームにおいて、認知症を有する要介護者の健康と尊厳ある生活を支援するための看護を実践する。

【授業目的・目標】

1. 地域における認知症グループホームの位置づけとその特徴を理解する。
2. 認知症を有する要介護者の健康と尊厳ある生活を支援するために、自立を基本とした日常生活のなかでの看護の視点を理解し、実践できる。
3. 認知症を有する人の家族支援における看護の役割を述べるができる。

【履修条件】

「認知症看護学」を履修していること

【授業計画】

- 実習1日目 施設オリエンテーション、施設実習Ⅰ（情報収集）、実習計画作成[案]
 実習2日目 施設実習Ⅰ
 実習3日目 施設実習Ⅰ
 実習4日目 施設実習Ⅱ
 実習5日目 施設実習Ⅱ、計画に基づいたケア実践の記録・プレゼン・面談

【教科書】

指定なし

【参考書】

認知症看護学の講義で配布した資料

【評価方法・評価基準】

実習目標への到達度による評価 70%、レポート・プレゼンテーション 20%、態度・行動 10%

【講義のために必要な事前・事後学習】

- 事前学習：施設情報の把握、パーソン・センタードケア、ユマニチュードの実践について課題学習
 事後学習：1日の実習終了後に各自が体験したことを振り返り規定の記録用紙に記述する。課題の中からテーマを抽出しプレゼンテーションに必要な自己学習をする。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習に関わる記録については4年次前期終了時に返却する（掲示により連絡）

【備考】

- ・認知症看護学で学んだセンター方式、ユマニチュード技法について復習をすること。